

「札幌市発注工事におけるゼロカーボン推進に資する取り組み」について

「ゼロカーボン都市」の実現に向けて、
北海道開発局・北海道と連携し「ゼロカーボン推進に資する取り組み」を札幌市発注工事で実施する。

【取組内容】

先ずは、建設業における「ゼロカーボン」への意識醸成を図るため、
受注者が工事現場で実施する意欲的な取り組みに対し、「工事成績評定」で加点評価する。

【試行概要】

- <適用対象> 令和4年4月1日以降しゅん功の工事
- <実施> 取組を希望する場合、実施内容を計画書等に明示し、実施前に提出
※令和8年度4月1日告示工事より、対象となる取組を一部変更しております
取組を確認できた場合は、工事成績評定において加点
- <加点箇所> 工事成績採点運用表の「社会特性～地域への貢献」工事主任の上司
にて1項目追加
※当該取組で、工事施行成績評定（創意工夫、社会性等）にて重複して加点評価しない

【期待する取組例】

- 建設機械への二酸化炭素排出量の少ない燃料等の使用
- 現場事務所や工事用電源等における再生可能エネルギーの活用 など

＜取り組み事例＞ 1/2ページ

■ 現場事務所や工事用電源等における再生可能エネルギーの活用（電力メニューの切り替え、太陽光発電設備等の設置）

⇒ ソーラーパネルで得た電力の活用

（現場事務所の電源、現場照明や電光掲示板、水替工事等の電源として活用、作業用工具やLEDライト等への充電に利用）

■ 建設機械等へ二酸化炭素排出量の少ない燃料等を使用（ハイブリッド車、バイオディーゼル、バイオエタノール、GTL燃料等）

⇒ 油圧ショベル・ブルドーザ等の「燃費基準達成建設機械」を使用

⇒ アイドリングストップ機能付きのバックホウを使用

⇒ 建設機械や産業廃棄物の運搬車両にバイオディーゼル燃料を使用

⇒ 尿素SCRシステム車両を使用（軽油使用量の削減による二酸化炭素排出削減）

⇒ エンジン式ではなく電動式の機器（転圧機や小型締固め機械等）を使用

⇒ 工事現場で使用する連絡用自動車にハイブリッド車を採用（連絡用自動車の環境対応）

■ 現場事務所での木質ペレットストーブの使用

＜取り組み事例＞ 2/2ページ

■ 各種省エネルギー設備の利用によるCO₂排出量の削減（太陽光発電、ヒートポンプ式給湯器、雨水利用）

⇒ 発電機を使用せずにポータブルバッテリーを使用（燃料使用量を削減）

⇒ 現場事務所屋根の緑化、現場事務所への緑のカーテン設置、現場事務所の屋根に散水管を設置（冷房負荷削減）

※LED照明器具の利用は令和8年4月1日以降告示工事より対象外となります。

■ ICT（情報通信技術）の活用

⇒ 遠隔臨場による社内検査の実施

■ その他

⇒ 工事看板、木杭等への間伐材の使用

⇒ 溶接のない資材を選定し、製作過程での二酸化炭素発生を低減

⇒ 低炭素型（環境負荷低減型、CO₂吸収等）コンクリートの活用

⇒ 新技術活用システム（NETIS）に登録されたCO₂削減関連技術

※キーワード検索「CO₂削減」で検索されるもの